

# 令和元年経済建設常任委員会概要記録

(会期中)

○会議日時 令和元年12月5日(木) 午前9時28分～午前10時30分

○場所 議会特別会議室

委員の出欠状況 (出席=○ 欠席=×)						
職	出欠	氏名	職	出欠	氏名	
委員長	○	松本賢一	副委員長	○	村尾光子	
委員	○	坂村哲也	委員	○	五戸豊弘	
〃	○	貝木幸男	〃	○	石田陽一	
			出席	6人	欠席	0人

説明のために出席した者			
職	氏名	職	氏名
産業振興部長	栃本邦憲	建設水道部長	瀧澤卓倫
農政課長	清水光則	農業委員会事務局長	近藤善美
商工観光課長	伊澤巳佐雄	建設課長	保沢明
都市計画課長	伊澤仁一	区画整理課長	濱野岳仁
水道課長	神戸良和	下水道課長	長塚章

事務局			
職	氏名	職	氏名
議会事務局長	谷田貝明夫	議事課長	上野和芳

○議員傍聴者 石川議員

○一般傍聴者 0名

1. 開会
2. あいさつ 松本賢一委員長
3. 概要録署名委員 坂村哲也委員
4. 事件

#### 4. 事件

##### (1) 付託事件審査について

補足説明 なし

現地調査 なし

議案第44号 令和元年度下野市一般会計補正予算(第6号) 【所管関係部分】

質疑・意見

##### 〔歳入〕

#### 15款2項4目 土木費国庫補助金

○坂村委員： 社会資本整備総合交付金とその下の地域連携推進事業費について、対象のものと減となった理由を伺う。

●建設課長： 社会資本総合交付金が108万円減額、地域連携推進事業費の補助金が1,900万円減額になっている。社会資本総合交付金の対象事業は、都市局の交付金としては2-7号線と自治医大周辺の地区になる。道路局の交付金としては、2-7号線、1-3号線、1153号線(スマートICのところ)、1-5号線、1-8号線、2-1号線、2-10号線、しもつけアンダー修繕の部分、道路橋梁長寿命化計画、小金井駅自由通路が対象となっている。それらが社会資本総合交付金対象になる。地域連携推進事業費補助金については、スマートICの箇所になる。なぜ減額かという、国庫補助の確定額が当初予定した予算額より少なかったことによる。社会資本の交付金については当初1億8,520万ほど予定していたが、1億8,412万円しかつかなかった。また、スマートIC関係の補助金は、当初4,100万円予定していたが、2,200万円しかつかず、1,900万円のマイナスとなる。

○坂村委員： 同様に、下の都市計画費の補助金についても伺う。

●都市計画課長： 都市計画費補助金の中の社会資本整備総合交付金の公園整備事業費を470万1,000円減額することについて、今年度2カ所の公園(生涯学習情報センター南側のコアラ公園と蔓巻公園遊具の長寿命化として)の更新工事の補助金を要望していたが、両方の想定の金額として予算ベースで1,740万2,000円予定しており、補助金はそのうち2分の1になるので870万1,000円要望していたが、実際に国からの内示で400万円しかこなかったため減額をする。

○坂村委員： 了解した。減額になったことで進めている事業に支障はないか。

●建設課長： 補助金の減額だが、事業進捗に併せて、路線の振り分けをして進捗に合わせて補正を行っている。

●都市計画課長： 公園については、2カ所のうち1カ所コアラ公園は補助対象外として対応し、もう1カ所の蔓巻公園のほうは既に工事を発注しており、そのうち一部に補助金をあてたいと考えている。

- 村尾副委員長：公園整備事業でコアラ公園は補助対象外とするということだが、一般財源から実施するのか、もしくは事業は実施しないのか。
- 都市計画課長：一般財源を活用し更新する。実際にやっている。
- 建設課長：補足だが、地域連携の事業補助はスマートICになり、減額には一般財源で対応している。スマートICの整備期間はとてもタイトな状況で、事業を遅らせるわけにいかないため一般財源で対応している状況である。

## [歳出]

### 7款1項2目 商工業振興費

- 坂村委員：石橋多目的広場、土地購入費の内容、詳細を伺う。私有地はどこが入っていたかなど。
- 商工観光課長：石橋庁舎跡地のところに私有地が2筆あり、土地購入費で購入している。面積は423.96平米の宅地で、平米単価4万7,900円として購入している。
  
- 村尾副委員長：石橋多目的広場整備事業だが、事業を進めるにあたって、今回は土地購入費補償費の所管は商工観光課だが、建物をどうするかは生涯学習文化課、全体の計画は総合政策課で、いろいろな課が関わり予算計上の仕方それぞれのようなのだが、所管事務の分担はどうなっているのか。
- 商工観光課長：計画段階は総合政策課で担当していたが、今回商工観光課で担当しているのが、石橋庁舎跡地の多目的広場である。生涯学習文化課所管は石橋病院跡地の公民館・コミュニティ施設である。

### 8款2項2目 道路橋梁新設改良費

- 坂村委員：市道1-8号線について、以前も予算計上があったが、今回はどういったものが対象か伺う。
- 建設課長：市道1-8号線については、9月にも補正した。9月の現地調査で行ったときには1件協力を得られないところがあったが、その1件から内諾を得られ、用地補償という形で追加した。道路工事については、完成系を目指す形になる。
  
- 村尾副委員長：計画していた区域は完了するということか。
- 建設課長：これで全部完成となる。4号線から通学路にぶつかるところまで完成になる。
- 村尾副委員長：この事業費ですべて終わるということは、年度内にできるということか。

- 建設課長：これから道路工事発注になり、発注の前に用地買収、建物移転等になるので、年度内に完成は難しいと思う。
- 村尾副委員長：繰越になる可能性が大きいということか。
- 建設課長：そのような形になると思われる。
- 村尾副委員長：1－3号線について、かなりの額が減額ということだが、土地の所有者の同意が得られないのか、状況を説明願う。
- 建設課長：1－3号線は、ゆうゆう館から北に上がってくる県道栃木二宮線からちょうど北側になる。今年度用地買収1件を行い、補助金の交付額決定に伴って、用地が得られないわけではないが、その進捗に合わせて減額という形をとった。
  
- 貝木委員：自治医大駅周辺整備事業の駅広場シェルター建築設計とあるが、どのようなものか伺う。
- 建設課長：シェルターというのは駅前のロータリーの周りに雨よけとか、屋根をつけるような形の、日よけのようなもので、ロータリー全体的な整備になる。
- 貝木委員：名前はシェルターだが、アーケードのようなものということで、了解した。
  
- 石田委員：2－10号線、細谷小学校のほうの道路で、結構時間がかかり、工期が3月まであるものもある。発注が遅くなったり、電柱が寄らなかつたりだと思うが、小学校へ通う長田からの道路は歩道が砂利で渡れないと学校から声が出るが、改良が終わってない状態ですよ。通学路として完全整備が終わるのはどのくらいを見込んでいるのか伺う。
- 建設課長：今工事を行っているところは路盤工事まで行っているが、舗装工事までは今年度末までに完了という形で予定している。
- 石田委員：まだ舗装工事はでていない、一番北の工区はまだ改良やっている状態ですよ。路盤までまだいかないくらい。今年度末には舗装完了までいくのか。
- 建設課長：舗装工事は発注した。今年度末工期という形で出している。
  
- 石田委員：市道1－3号線の道路用地造成というのはどの辺の場所なのか説明願う。
- 建設課長：用地買収したところの、買収後の砂利引き、道路用地の造成と考えていたが、今回用地買収するところがなくなったことで用地造成の110万円を落とした計画にした。
- 石田委員：買わなかったということか。了解した。

- 1－8号線の予定工事区間について、場所を伺う。
- 建設課長：工事箇所は、4号線から入ったところでまだ表層がされていないところだが、用地買収するところの道路改良になる。
  
  - 村尾副委員長：自治医大駅広場シェルター建築設計について、12月中に市民説明会が開かれるようであるが、そこで説明する内容はどの程度のものか。設計するということだが、最終的にどういう形にするのか前回の市民説明会の情報しかわからないので、今の段階でどのような形をイメージしているのか説明願いたい。
  - 建設課長：シェルターについて、シェルターをつくるということではあるが、まだどのような形でということとはわからない状況なので、不確定な説明はできない。今回の説明会では、自治医大に抜ける商店街の道路の整備と今後のスケジュールを説明予定である。
  - 村尾副委員長：道路の部分については、今回の補正とは関係ないということか。
  - 建設課長：そのような形になる。
  - 村尾副委員長：設計を委託する時の仕様書にどういう条件を出すのか。
  - 建設課長：詳細までははっきりと煮詰まっていない状況である。見積り等ももらっているが、現地の状況に合わせる形であるが、手元に仕様書がないため後ほど確認してご報告する。
  - 村尾副委員長：これは実施設計になるのか、基本設計の部分になるのか。前回の説明会時の構想は、駅の玄関からタクシー乗り場、自家用車が送迎して乗り降りするところまでの植栽をとった辺りまでのイメージの説明だったが、それに向けての基本的な設計をお願いするということか。
  - 建設課長：実施設計となる。今回実施設計を行い、今後はシェルターでは建築審査会等がありその手続きに時間がかかるため、今回補正として早めに計上した。
  - 村尾副委員長：後ほど仕様書を示していただきたい。  
仁良川地区道路整備事業の工事請負費であるが、擁壁整備に関して減額ということは予算内で執行し、残額が出たと理解してよろしいか。
  - 区画整理課長：おっしゃるとおりである。減額の理由としては、当初裏込めする土を中大領から持ってくる予定が近くのものを使えたということと、分割して発注したところ、請負で1号、2号についてそれぞれ1,000万円以上の執行残が出たということである。

## 8款2項1目 道路維持費

- 村尾副委員長：市道1－12号線の舗装修繕とあるが、新4号線からゆうゆう

館につながるところか。以前も大規模な改修、修繕をしていたと思うが今回計上されたのはどこの区間になるか。

- 建設課長： 施工場所は柴地区になり、延長約860mの施工となる。
- 村尾副委員長：そこを実施すれば、この大規模修繕事業は1-12号線に関して完了するということか。
- 建設課長：1-12号線については交通量が多く、傷みも全体的にひどい。まわりの住民からも修繕の要望があがっており、今回柴地区をやるわけだが、計画的に来年度から令和4年度くらいまでに全線を新4号から栃木二宮線まで行う計画をもっている。
- 村尾副委員長：了解した。

### 6 款 1 項 3 目 農業振興費

- 坂村委員： 施設管理費の庁用器具購入費の詳細を伺う。
- 農政課長： 石橋にある農村環境改善センターの味噌作りを行うときの発芽器、麴作りの機械で、平成8年購入のもので老朽化により加温しなくなってしまうため更新を行う費用を計上した。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第48号 令和元年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業  
特別会計補正予算（第2号）

質疑・意見

#### [歳入]

#### 4 款 1 項 1 目 不動産売払収入

- 坂村委員： 保留地処分金について説明願う。
- 区画整理課長： 保留地処分金の増額について、保留地には一般保留地と随意契約の保留地とあるが、今回一般保留地の売れ行きが非常に好調だったということにより補正するものである。当初1,696万8,000円を見込んでいたが、10月末の補正予算計上時で5件、4,627万3,000円分売れていた。その後も1件売れており好調であるため、財源調整ということで今回計上している。
- 村尾副委員長： 当初予算と合わせると5区画で4,627万円ということだが、1区画平均いくらかの所だったのか。
- 区画整理課長： 1番安いもので780万円、高いもので1,099万2,000円である。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第49号 令和元年度下野市下水道事業会計補正予算（第2号）

質疑・意見

- 村尾副委員長： この補正予算には台風で被災した所は計上されているのか。
- 下水道課長： 台風関係の予算は特に計上していない。
- 村尾副委員長： 直接関係ないが、国道352号線と流域下水道関連の汚水処理水のマンホールあたりが被災したのは県費になるのか。
- 下水道課長： 流域下水道は県で管理しているので、県のほうで修繕等を行うことになる。352号線については下水のほうで修繕するが、緊急時対応という予算を当初から持っているので、それを利用して修繕等行ったため、特に補正等の必要はなかった。
  
- 坂村委員： 全体的にマイナスが見られるが、これは事業自体を縮小したということか説明願う。
- 下水道課長： 今回の補正は、令和元年度の予算にマイナスで計上しているが、平成30年度の3号補正の31年3月補正時に、汚水の関係の事業費で1億6,000万円、雨水で8,300万円を前倒しで国庫補助をいただいて事業化している。この数字を入れて計算すると、実際にはプラスで事業を実施できているということである。金額では汚水が1億3,720万円のプラスで、雨水は4,081万円プラスの事業が実施できている。
- 坂村委員： 了解した。縮小したわけではないと理解してよろしいか。
- 下水道課長： そのとおりで、予算上は減だが、実際の事業はプラスでできていることになる。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第55号 石橋地区都市農村交流施設における指定管理者の指定について

質疑・意見

- 村尾副委員長： 指定管理者を公募しないということであったが、その理由を伺う。
- 農政課長： 指定管理者選定委員会の第1回において検討されたが、企業組合すがたがわにおいては、適正な管理運営が行われているということと、指定管理者として地区の発展のために尽くしているということが評価されて、公募せずに1者のみとなった。
- 村尾副委員長： これが設置された由来を考えると非公募でやっていくだろうと感じるが、ゆうがおパークの場合公募するということはあるのか。
- 農政課長： 1期が終わり、今回2期の指定管理者選考委員会を開いたが、今

後の状況によっては、3期目は公募する可能性はあると思う。

- 村尾副委員長：非公募とした理由で地区の発展はわかるが、適正な管理運営がなされているということであったが、今年度は経営改善計画（経営診断か）を策定するというので、本当に適正な管理運営と言えるのかどうか疑問を感じたが、その点についての見解を伺う。
- 農政課長：1期、2期、3期まで赤字という予定で進んでいるが、続く3年の間に黒字に持っていくという計画を立てようということ、中小企業経営診断士も入れて経営改善の方策を練っているので、これを見越して増収に持っていきけるのではないかと考えている。
- 村尾副委員長：経営診断や経営改善に向けての計画を今年度やっているの、継続させなければならないという側面もあると思う。非公募としたが、決定前に事業者のプレゼンを実施したと説明を受けたと記憶しているが、どのような内容のプレゼンを受けたのか。
- 農政課長：プレゼンテーションは約1時間弱行い、ゆうがおパークの事業戦略として令和2年から4年の間にどういうことをやっていくか、施設運営の目的の確認や現在の状況、3カ年の事業戦略等をレクチャーいただいた。
- 村尾副委員長：中小企業経営診断士の方が行ったものか、理事長に相当する方がやるのか。
- 農政課長：これは企業組合で行った。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

#### [要望すべき事項]

なし

#### 5. その他

- 石田委員：台風19号災害関係で、予定していたものを削ってでも、農政、建設、道路、環境もあると思うが、建設と農業関係で予算を削って回ってしまったので事業が遅れるといった影響はないか。
- 産業振興部長：農政関係については今回甚大な被害があった。予算関係で申し上げると、既存の事業については予定通り進めた上で、災害復旧も取り組んでいる。そのような意味では、現体制で精いっぱい行っていく。
- 建設水道部長：建設水道部関係についても、現予算の事業についての影響はなく、災害については別枠で予算をいただいている状況なので、早期の復旧に努めるということで、現在工事等の発注も急いで進めている。
- 石田委員：安心した。変更はしなくても何とかできるということだが、見通

しとして農業施設、道路関係は会計年度までに終わるのか。市にはお願いしたが、来春の作付けに間に合うのかという心配をしている人もいる。どうしても間に合わないこともあるということを伝えないといけないということもあるのでそのあたりはどうか。

- 産業振興部長： 農業施設関係について、今回激甚災害の指定を受けているので、施設関係は国の災害補助制度を有効活用するのが第一原則になると思う。早速現場では、県の振興事務所等と一緒に査定を順次受けている状況である。今後の農業経営の復旧の見通しが一番心配かと思う。その中で、単独事業でできるもの、要は市のほうだけで補助事業を受けずに進められるもの、災害の全体の中において比較的軽微なものについては、順次発注の準備を進めており、設計等を集約しながら、できるだけ早く復旧できるように着手しているところである。基本的には国の補助を活用した災害査定に基づく復旧事業となるが、これについては査定を経た上での事業着手になるので、その辺の見通しは必ずしも楽観視はできない。新聞報道等を見ると、本市ではなく全国的なことになるが、状況によっては1月頃の査定・発注となると、今年度の農業施設の復旧は難しいのかなというような心配がされている地域もある。そのようなことを踏まえると、今後の災害査定状況、今回一番甚大な被害を受けたところが、新川のところの農地が流出したところであり、復旧工事は、単に土を埋め戻すだけということは考えられないので、来年の作付けに間に合うのかを見極めながらできるだけ早く着手したいところだが、担当としては、県の協力を得ながら、できることは早く実施し、可能な限り経営に不便を来さないような状態で臨んでいきたいと考えている。
- 建設水道部長： 建設関係、特に道路という部分がメインになるが、大きなところの災害対応としては4カ所ある。これらは今月末に査定が予定されている。とは言え発注の準備は進めている状況で、年度内で諸々の庁内の手続きは済ませ、年明けに現場着手できるような方向で進めている。細かい部分についても年度内に終わるような形で随時発注していきたい。契約検査等もあり、額にもよるが、随意契約で対応していかないと現場が進まないというところがあるので、小規模のものは随時やっていきたい。特に農業施設との関連がある部分については道路部分を先行して進めないと、水路等がうまくでき上がってこないと考えているので、そのような路線については、農政サイドと調整しながら進捗を図れるようにやっていきたい。
- 村尾副委員長： グリーンタウンの中にアヒル公園という公園があり、つり橋が設置されていたが、撤去の方向と聞いた。どのような方針を決定したのか経緯を伺う。
- 都市計画課長： 木造の橋で老朽化が著しいということで、テープなどを張り

通行できないようにしていた。かけかえをしたいということで計画したが、費用を算出したところ 6,000 万円くらいかかるという話であり、撤去するしかないかということであったが、今年度、別の業者に、別の方法でかけかえできないかを検討してもらいたいということで試算してもらったが、やはり同じような金額であった。一つの公園にそれだけのお金をかけることがどのような形になるかということを考え、近隣の自治会長さんにその辺の内容を説明し、自治会の方にご了解をいただければ撤去したいということでお願いしたところ、皆さん致し方ないということでご了解いただいたので、来年撤去する方向で、新年度予算に設計と撤去工事の予算措置をお願いしている状況である。

○村尾副委員長： 通行止めになっていて、表示が、蜂がいて危険なので通らないようにと書かれていて、いつになったら通れるのかと市民から言われたが、実は老朽化して危険だから通れないということだったのですね。その旨を書いてもらったほうがよかったと思う。撤去する費用はどのくらいかかるのか。別の方法での橋というのは考えられないのか。一部の方は近道になり都合がよいという人もいた。

●都市計画課長： 正確な金額は後ほど回答したい。つり橋ではなくボックスカルバートを入れたり、いろいろな手法でできないかということで比較し、お使いになられている方もいるのでその辺を大切にしないといけないかなということで考えたが、どのような方法で行うにしても多額の費用がかかってしまうことから、撤去するというご了解をいただいたため、そのような方向で進めたい。

○貝木委員： 市営住宅は本市にあるのか。

●都市計画課長： 市内に 1 カ所、2 棟で 4 室ある。実際には 2 世帯入っており、2 部屋分空いているわけだが、一つは老朽化が進んでいる。市営住宅自体が木造で 35 年くらい経過しており、耐用年数 30 年を超えている。国分寺地区にある。

○貝木委員： 今回は水害であったが、万が一大きな地震が来た時に倒壊などして、五戸議員が一般質問で言っていたが、石橋地区の方が栃木市に引っ越されたということであった。引っ越すところがある方がいいが、災害が起きた時に市として提供できる建物があるのかと思って伺った。ぜひ検討してほしい。

●建設水道部長： 災害時、建物に住めなくなった場合に市営住宅の活用ということだが、先ほど一つは老朽化し、1 室空いている状況だが、今回相談いただいたということもある。市では物件としては一つしかないのも、以前の災害でも県営住宅との連携により、一時避難的に住居を求めるということも流れと

してはあるので、市としては一つしかないが、必要性があった場合については、県とも連携して県営住宅の活用も進められると考えている。

- 村尾副委員長： 先日議員全員で現地を見せてもらったが、集めた稲わらを環境課では焼却することになるのか。堆肥化できないかという話をしていた議員がいたが、その可能性は難しいのか。即堆肥化というと長期間スペースを占有することになるが。
- 建設水道部長： 稲わらの処分については環境課で頑張っているが、先日の視察の際に聞いたと思うが、通常のわらであれば広域でも処分できるが、泥まみれということもあり、焼却施設が痛むということで、別の場所に搬出して処分を進めるということである。当然費用がかかることになる。提案のあった堆肥化については市としては考えていないと思う。わらの堆肥というのが、1年作であるので、よく落ち葉の話は何うが、落ち葉も、私の記憶だと震災の後、栃木県としては落ち葉の腐葉土の作成は一般的には推奨していない、まだ解除になっていないという記憶がある。稲については、1年ものなのでその辺のものではないのかと思うが、現時点では焼却、あるいは、現場ですきこみができるものについては行っていく方向での進め方になっているという状況である。

閉会